



学校だより
令和4年10月3日
(2022年) 第7号
城陽市立城陽中学校
www.kyoto-be.ne.jp/joyou-jhs/cms

～生徒会スローガン～
誰もが愛で包まれる日本一の中学校
～寄り添い、分かち合い、つながる～

前進！城中！！ 見事 越えた、学年の壁！！



早いもので、2学期も1ヶ月が過ぎました。

この間、感染対策を講じながら、各行事の取組を進めてきました。また、部活動においては、多くの部活で、3年生から2年生へとバトンが引き継がれ、新チーム・新体制での活動がスタートしています。今月には、生徒会本部役員の改選が行われ、学校全体としてもリーダー学年の移行が進んでいきます。

そうして、多くのものを後輩へと引き継いでいくなか、3年生が見事なリーダーシップを発揮し、体育大会を成功へと導いてくれました。

伝統を引き継ぎ、新たな文化を創造する2学期の中盤。城中としての縦のつながりをさらに深める機会を牽引してくれた3年生を中心に、またひとつ大きく学校が前進しました。

体育大会 力戦奮闘 ～今こそ壊せ！ 学年の壁～

★総合優勝★ 赤ブロック 1年1組 2年3組 3年3組
★総合準優勝★ 黄ブロック 1年4組 2年2組 3年4組
★ブロック賞★ 黄ブロック 1年4組 2年2組 3年4組

今年度は実に2年ぶりに、縦割りブロックによる体育大会を実施しました。縦割りで実施していた城中の体育大会を知る最後の学年が現3年生です。1年生の頃の記憶を頼りにしつつ、新たな文化の構築を目指して試行錯誤する姿がありました。結団式に始まり、ラジオ体操や競技の様子をタブレットで記録して上級生からアドバイスをしたりと様々な工夫を凝らし、他学年との縦のつながりを大切に取組を進めてきました。また、練習の集合時間や服装、授業の着ベルの声掛けなど、競技以外の面にも城中として大きな前進が見られました。

結果は各ブロック、各クラス様々でしたが、互いを思い合って協力した経験を活かし、日本一の中学校を目指してさらに前進していきましょう。



輝く城中生 秋季大会結果一覧

9月17日～19日の3日間に、城陽久御山中学校秋季大会が開催されました。

気象警報の関係で、卓球の個人戦は残念ながら実施できませんでしたが、多くの競技で練習の成果を発揮して、上位入賞を果たしてくれました。今大会で得られた課題点を克服しさらなる成長を果たすべく、春季大会へ向けて、実りある秋冬を過ごしましょう。

陸上競技

団体 総合 **第3位** 男子 **準優勝** 女子 **第5位**

個人	2年男子100m	優勝	舟川 拓
	共通男子200m	準優勝	藤井 翔吾
	共通男子400m	優勝	舟川 拓
	共通男子1500m	第3位	畑 悠月
	共通男子4×100mR	優勝	北分 舟川 西村 藤井
	共通男子走高跳	優勝	西村 鈴佑
	共通男子走幅跳	優勝	藤井 翔吾
	共通男子三段跳	準優勝	吉原 彩徒
	共通男子砲丸投	優勝	杉 明
		準優勝	青木 匠

	1年女子100m	第4位	北村 蘭
	共通女子走高跳	第3位	北村 蘭
	共通女子砲丸投	第4位	高田 璃來

ソフトテニス女子

団体 **優勝** 個人 **ベスト16** 三瀬・片岡 ペア
村田・野崎 ペア

ソフトテニス男子

個人 **ベスト16** 大塚・岩佐 ペア

サッカー

優勝

卓球女子

準優勝

野球

第3位

バスケットボール女子

第3位

柔道

個人	男子60kg超級	優勝	藤山 慶翔
		準優勝	高間 龍也
		第3位	林 虎乃輔

校則改定に向けた取組

現在、城陽中学校では女子の制服はセーラー服もしくはカッターシャツとなっています。かねてより、朝夕と日中の寒暖差の大きな時期や、エアコン稼働期には、女子が着脱できる服装でないため、体温調整がしにくくなるという課題がありました。

そこで今年度、生徒会本部役員を中心に、校則改定について全校の意見をとりまとめ、話し合いをしてきてくれました。

改定の目的としては、女子が脱ぎ着のできるカーディガンをカッターシャツの上に直接着用し、体温調整をしやすくするというものです。

【提出された要望内容】

- 女子の着脱ができるよう、カッターシャツ+カーディガンの着用を許可してほしい
- 色は生徒会アンケートをもとに、生徒会が検討した統一色とする
- 着脱を要する時期以外は、セーラー服もしくはカッターシャツを着用する
- 開始時期・詳細は、生徒会が意見集約をまとめたのち、改めて提示する

生徒会アンケートをもとに、「オフィシャル（公的）な場所での身なり」について、全校の皆さんに考えてもらう機会となったことと思います。

義務教育修了後に身につけておいてもらいたいのは、すべてを規定で縛られることなく、T P O : Time（時間）、Place（場所）、Occasion（場合）に応じた身なりを考えられることです。

今後、受験で面接に行くとき、職場体験で事業所を訪問するとき、「普段通り」で通用するような感覚を養っていてもらいたいと思います。

改定内容の詳細は、全校の意見集約をして、生徒会ニュースが発行されます。改定の開始時期を含め、詳しくは生徒会ニュースを確認してください。

10月の主な予定

3日（月）	3年校内実力テスト
4日（火）	生徒会本部役員選挙
6日（木）	中間テスト1日目 スマイルネットあいさつ運動
7日（金）	中間テスト2日目 合唱練習開始
11日（火）	2年ビジネスマナー講座 生徒会本部引継式
12日（水）	3年進路説明会
15日（土）	山城駅伝大会
18日（火）	諸費振替日
21日（金）	合唱コンクール（お弁当）
22日（土）	第40回「青少年の意見」発表会
26日（水）	2年職場体験学習（～28日金）
27日（木）	3年進路面談（～11/4金）
28日（金）	諸費再振替日



【テスト前部活動停止】9月29日(木)～10月6日(木)
【平日部活動休養日】19日(水)、21日(金)、25日(火)

ほんのちょっとのちがい

「ほんのちょっとのちがい」だけど、積み重ねると大きく変わるもの…。

「ほんのちょっとのちがい」だけど、受け取る側にとっては大きな違い…。



この時計の時間に見覚えはありますか？

多くの人にとっては、見覚えのある時間だと思います。

そうです。3時間目の始まる2分前ですね。この時計を見て、2通りの気持ちが生まれると思います。

「もう2分前」と「まだ2分前」

ほんのちょっとのちがいだけど、積み上げて毎日の当たり前になれば大きく変わるもの。

「もう2分前や」と思っている人は、タブレットの準備や週直の確認、提出物や教科の準備など、様々な確認をして余裕を持って「55分」を迎えます。

「まだ2分前や」と思っている人は、もう少し友達と遊んだり、おしゃべりをしたりして、ギリギリで席に着き、チャイムを聞いて「セーフ」と一言。「タブレットいるん？」「教科書忘れた」「あ！黒板消すの忘れてた！！」「ブロック着ベルアウトなるやん！やばい！」

「ほんのちょっとのちがい」だけど、当たり前を積み重ねれば、大きく変わります。



昇降口です。

体育大会の取組期間は、全校体育、ブロック練習へと、時間を気にしてグラウンドへ駆け出していく全校生徒でごったがえしていました。その光景を見守っていて、こんな一コマがありました。

混雑する下駄箱。その行列の前の方に回ってみると、自分の靴を手に持って、すのこを抜けて少し前の広い所へ避けて靴を履く人の姿。後ろで着ベルを気にして急ごうと待っている人のために、**ほんの2、3歩前に避けてから靴を履くことによって、後ろの人が自分の靴を取ることができる。**

「ほんのちょっとのちがい」だけど、時間を急ぐ後ろの人にとったら、大きな違い。

これ以外にもたくさん、「ほんのちょっとのちがい」を意識できる多くの生徒によって、気持ちのよい生活を送ることができているのかも知れませんね。